

別紙

株式会社 I H I 呉第二工場温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称
株式会社 IHI 呉第二工場
- (2) 事業所の所在地
広島県呉市昭和町2番1号
- (3) 業種
3 1 4 2 航空機用原動機製造業
- (4) 従業員数
4 7 6 人
- (5) 事業所位置図
別紙 2 (平面図) のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成24 (2012) 年度を基準とする平成26 (2014) 年度から平成30 (2018) 年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

株式会社 I H I は、「技術をもって社会の発展に貢献する」、「人材こそが最大かつ唯一の財産である」との経営理念に基づき、環境保全への取組みを経営の最重要課題の一つとして、地球的規模で持続的発展が可能な社会の構築への貢献こそ、自らの責務であると自覚し、グループの総力をあげ事業活動の全過程において、この活動に自主的・積極的に取り組むことを基本方針とする。

2. 行動指針

- 1) 国・地方自治体などの環境関連法・条例・協定及びその他の要求事項を遵守し、必要に応じて自主管理基準を定めて運用する。
- 2) 事業所の環境マネジメントシステムを構築し、事業活動が環境に与える影響を調査・評価し、技術的・経済的に可能な範囲で、環境改善のための目的・目標を定め、実行・評価し、継続的改善を図る。
- 3) 製品の研究、開発、設計、調達、製造、使用、サービス、廃棄に至る事業活動の各段階で環境配慮の取組みに努め、省エネルギー・省資源対策、廃棄物の排出量の削減、化学物質の管理体制の強化を推進する。
- 4) 地域社会活動に積極的に参加し、地域との融和、地域環境の保全に努めるとともに環境活動に関する情報の提供に努める。
- 5) 全ての従業員と構内に働く協力企業の従業員に対し、環境教育を通じて呉地区環境方針の徹底を図るとともに従業員自らが環境問題に関心を持ち、行動できるようにする。
- 6) 呉地区環境方針は、社外に対しても公開する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成24年度	直近年度 平成25年度
二酸化炭素	8, 293	15, 781	15, 583

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF ₆			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産個数

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位置 (t-CO₂/個)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 24 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 30 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	15,781	12,706	1.242	6%	14,828	12,706	1.167
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	7,497	12,706	0.590	6%	7,039	12,706	0.554
目標設定の考え方	毎年前年度比原単位1%削減						

※ 削減率(d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	都市ガスの使用量をH24年度比6%削減	1. 蒸気ボイラーの空気比の管理及びヘッダー圧による台数制御 2. 蒸気配管等の保温材の更新
2	電気使用量の削減	電気使用量をH24年度比6%削減	1. 省エネ型電気機器への更新 2. 冷暖房温度の適正管理 3. 長期連休の停電・節電 4. 省エネパトロール
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

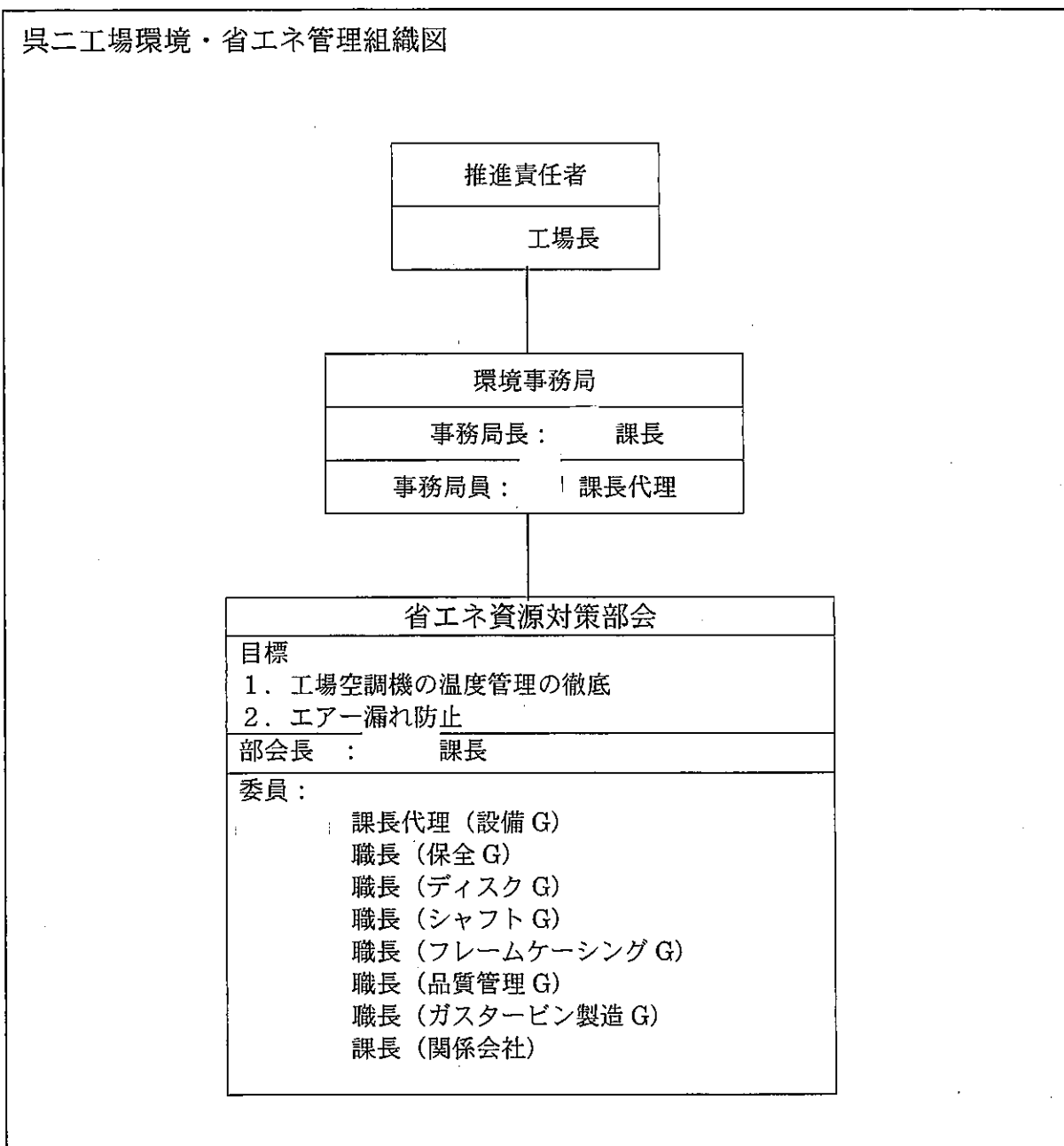
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	エネルギー使用量の削減	前年度比1%削減	・各職場でエネルギー使用量の管理 ・保留品・仕掛品の削減。
2	廃棄物排出量の削減	前年度比1%削減	・分別投棄、分別収集の徹底 ・業者回収の拡大（リターン） ・購入量の削減（紙・塗料） ・廃棄物のリユース ・ペーパーレス作業推進
3	その他		1. 工場廻りの清掃（バス停等） 2. 地域の資源回収及び清掃活動への参画 3. 環境関係資格の増員

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

省エネ部会を中心として、毎年温室効果ガスの取り組み状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、環境連絡会議において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

計画の公表は、条例第100条第2項の規定により、自ら公表することとしています。

その公表方法については、当事業所の備付けによる閲覧とする。